RACDA かわら版連載コーナー
「ぽっけえ便利なバスマップ」の
小さな旅

特集

忘年会シーズン到来！のんべい便利マップ活用術

いよいよ 12 月。街中にはクリスマスソングが流れ、一年で最もウキウキするシーズンだという方も多いと思います。子供たちはサンタクロースを待ちわび、大人は宴を待ちわびるこの季節。ここにもそんな大人がいました。

白い息を吐きながら嬉しそうに小走りで忘年会会場へ。彼の名前は志穂美悦男。今宵は努める会社の忘年会。「お疲れ様。乾杯～」。時計の短い針が7を示す頃、宴は始まった。

仕事の話、ゴルフの話。話は尽きる事なく大盛り上がりだ。しかしそんな中、志穂美は叫んだ。「宮本支店長～！もう20時ですよ。そろそろ林野駅行きの最終バスの出発時間です」。盛り上がっていた宴が急に静寂の世界となったが、「ありがとう志穂美君。お通は私の朝帰りは許してくれんからのぉ」と笑顔で先に家路についた。上長が退席すると更にヒートアップするのが職場の忘年会である。場所を移し二次会が始まった。盛り上がっている中、志穂美がまた叫んだ。「宅麻部長～22時前ですよ。渋川行きの最終バス大丈夫ですか？」「今日は妻の千香子が玉橋まで迎えに来るから。志穂美君、玉橋行きの最終は何時じゃぁ？」「天満屋バスステーション23時11分になります。」部長は安堵の顔を浮かべ杯を傾けた。

宴もたけなわの中、二次会、三次会と終宴となり三三五五と帰途に着く中、あせっている先輩の姿が志穂美の目に入った。「どうしたんですか。鼠先輩」「この時間じゃからタクシーで山陽町まで帰らにゃおえんのに財布の中に1,000円しかないんじゃあ」時刻は23時20分過ぎ。「先輩、大丈夫ですよ。宇野バスの深夜バスに乗れば800円で帰れます」「ありがとう」そういって普段はこわおもての先輩も笑顔で去っていった。志穂美は「僕は西大寺まで両備バスの深夜バスで帰れば500円で帰れる」そう思いながら自慢げに天満屋バスステーションからバスに乗り込んだ。しかし相当飲んだのであろう。どうも落ち着かない。門田屋敷の交差点待ちがやけに長く感じた。「次は東山」という車内放送の後、彼は降車ボタンを押した。用を足したい為に降車ボタンを押すのは自由であるが、戻ってきた時にバスが待ってくれている訳がない。結局その後、東山からタクシーで帰宅をした。駆けつけ三杯ならまだよいが、支払い三倍となってしまった。

しかしこんな彼ではありますが、何故同僚達の最終バス時刻を把握しお役にたてたかと申しますと、秘密兵器を持っていたのです。それは我々ＲＡＣＤＡが発行している「のんべい便利マップ」。田町交番を中心とし千鳥足での歩行時間+ＪＲ鉄道路線を含むバス路線の最終時刻表が掲載された、これから宴会シーズンに特に役に立つ大変便利なマップです。

ＲＡＣＤＡホームページからダウンロードも可能ですので、是非ご活用下さい。　安藤　亮